

【ビクターセンター イベント案内】

県立丹沢湖ビクターセンター

●自然教室「秋の西丹沢ネイチャーウォーク」
 【日 時】11月20日(土) 9:30~15:30
 【内 容】のんびりペースで丹沢湖をめぐる道路や登山道を歩きながら、深まりゆく秋の自然を観察します。
 (※コース・交通についてはお問い合わせください)
 【対 象】高校生以上20名 ※応募者多数の場合は抽選
 【参加費】1人1,500円
 【申込方法】往復はがき、またはFAX(返信用FAX番号明記)に行事名、参加者全員の氏名・年齢・住所・電話番号を記入して、締切日必着でお送りください。
 詳細は締切後、返信にてご案内いたします。
 【締切日】11月18日(月) 必着

県立宮ヶ瀬ビクターセンター

●特別展「丹沢の素敵な場所、変な場所」
 【展示期間】平成22年11月20日(土)
 ~平成23年3月31日(木)
 【内 容】丹沢には、感動をみんなに分けたくくなるような素敵な場所がたくさんあります。一方、問題をかかえて悲しくなるような場所もあります。そうした風景を写真で紹介いたします。

県立陣馬自然公園センター

●特別展「神奈川県立陣馬相模湖自然公園の写真展」
 【展示期間】平成22年11月2日(火)
 ~平成23年1月30日(日)
 【内 容】陣馬相模湖自然公園の魅力再発見! 一般の方からご応募いただいた約40点の写真を展示しています。

県立秦野ビクターセンター

●自然教室「足もとしっかり楽しい登山」
 登山の基礎技術をしっかり学んで安全で楽しい大人の登山ははじめませんか?
 【日 時】12月5日(日) 9:00~16:00
 【講 師】下越田 功 氏(社)日本山岳ガイド協会認定ガイド
 【集合解散】秦野ビクターセンター
 【活動場所】室内と野外(大倉尾根)
 【内 容】室内で安全登山の基礎的な技術を学び、大倉高原山の家までの登山道(大倉尾根)で楽しい登山を実践します。標高差は約300mです。
 【対 象】高校生以上25名 ※応募者多数の場合は抽選
 【参加費】1人2,000円
 【申込方法】往復はがき、またはFAX(返信用FAX番号明記)に行事名、参加者全員の氏名・年齢・住所・電話番号を記入して、締切日必着でお送りください。
 詳細は締切後、返信にてご案内いたします。
 【締切日】11月20日(土) 必着

環境省箱根ビクターセンター

●「箱根旧街道 西坂を訪ねて~歴史訪問と自然観察~」
 【日 時】11月14日(日) 9:30~16:00
 【内 容】箱根を飛び出して、三島側の旧街道を歩きます。歴史、草花、野鳥などそれぞれに詳しい講師と一緒にじっくり楽しみましょう。
 【コ ー ス】コース: 恩賜箱根公園~箱根峠~山中城跡~松雲寺
 【参加費】保険代1000円、移動のバス代
 【申込方法】往復はがき、もしくは電子メールに行事名、参加者全員の氏名、年齢、住所、電話番号を記入して、締切日必着でお送り下さい。
 【締切日】11月7日(日)



県立宮ヶ瀬ビクターセンター

〒243-0111 清川村宮ヶ瀬940-15
 Tel 046-288-1373 Fax 046-288-1162
 開館時間 9:00~16:30
 (1/4~2/28は16:00閉館)
<http://www.kanagawa-park.or.jp/miyagase/>

県立秦野ビクターセンター

〒259-1304 秦野市塚山下1513
 Tel 0463-87-9300 Fax 0463-87-9311
 開館時間 9:00~16:30(通年)
<http://www.kanagawa-park.or.jp/hadanov/>

県立陣馬自然公園センター

〒229-0201 相模原市緑区佐野川659-3
 Tel 0426-87-5270 Fax 0426-87-5270
 開館時間 9:00~16:30
 (12/1~3/31は16:00閉館)
<http://www.kanagawa-park.or.jp/jinba-vc/>

県立丹沢湖ビクターセンター

〒258-0202 足柄上郡山北町支倉515
 Tel 0465-78-3888 Fax 0465-78-3777
 開館時間 9:00~16:30
 (1/4~2/28は16:00閉館)
<http://www.kanagawa-park.or.jp/tanzawakov/>

県立西丹沢自然教室

〒258-0201 足柄上郡山北町中川867-2-9
 Tel 0465-78-3940 Fax 0465-78-3940
 開館時間 8:30~16:30
 (12/1~3/31は16:00閉館)
<http://www.kanagawa-park.or.jp/nishitanzawa/>

環境省箱根ビクターセンター

〒250-0522 足柄下郡箱根町元箱根旧礼場164
 Tel 0460-84-9981
 開館時間 9:00~17:00(入館は16:30まで)
<http://www.mmjp.or.jp/hakoneVisitorCenter/>

2010

11月号

No.81

~自然公園から季節のたよりをお届けします~

神奈川県自然公園たより

丹沢大山国定公園 県立丹沢大山自然公園 県立陣馬相模湖自然公園 富士箱根伊豆国立公園

安全に自然公園を楽しもう!

神奈川県山地はほぼ自然公園に含まれています。つまり、登山は自然公園内でのレジャーの一つと言えます。ビクターセンターでは安全に楽しく自然公園で過ごしていただけるよう登山の指導および注意喚起も促しています。実はスタッフも山で遭難寸前の恐い思いをしているのです。遭難事例を知っていることは、安全登山につながる面もあります。そこで、今号では、スタッフの危機一髪の体験事例を紹介いたします。



● スタッフの山岳遭難危機一髪 ●

◆3月の北アルプス東鎌尾根で、雪の急斜面を下降中、枯れ木をつかんだら、その木が折れて転倒滑落し、数十mスリップしてなんとか停止したが、数百m下まで滑落するところだった。
 枯れ木を不注意につかまないこと。冬は特に葉がないのでわかりにくい。

◆夜に山を歩いたことがあります。(本当は望ましくありませんが...) 何度も通った事のあるルートでしたが、5m先も見通せなくなる夜では全く別世界...。登山道を辿るのにかなり苦勞しました。山で日が暮れてしまった時の怖さを感じました。

◆幸いまだ「死ぬかも!」という危機に直面したことはないですが、道迷いの経験は多々あります。不明瞭な道ではケモノ道の方がはつきりしていることも。尾根にすーっと延びたケモノ道に引き込まれ下りてしまったことがあります。そのうち灌木がケモノしか通れないほど茂り細尾根急斜面になってきて...道迷いに気づきました。もちろん引き返して事なきを得ましたが、そのまま下っていったら滑落していたかもしれせん。地図読みの大切さを実感しました。

◆正月、一人で北アルプスの山に登った時のこと。下山途中、安全な場所が見えてきたので、アイゼンをはずしました。その直後、足が滑って「おしり」を強打。何とか歩くことができたので、痛いのを我慢して下山。帰宅後、病院に行ったところ、尾てい骨骨折との診断。自分への過信と疲労がまねいた結果の事故。歩ける箇所の骨折だったので良かったが、他の箇所だったら...。単独登山の怖さを体感しました。

◆地図・懐中電灯を持たない女性グループの救助をした体験です。女性グループが大山の下山中に、気が変わって不動屍方面にルート変更。このルートは登山道が長いだけでなく、林道に下りてからバス停までがとて長い。林道に下りたら真っ暗、途中のトンネルも壁を伝いながら歩いたようです。偶然、私と出会って号泣、「死ぬかと思った」と。登山地図・懐中電灯などの登山装備が不備なことも悪いのですが、思いつきでルートを換えてしまったことが最大の原因でしょう。



神奈川県では平成21年10月1日現在の遭難が69件発生し、遭難者86人(うち死者・行方不明が7人)となっています

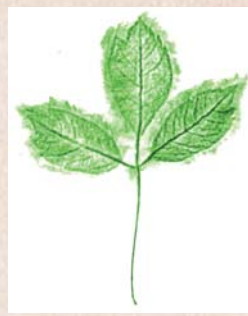
丹沢湖ビジターセンター

カエデいろいろ！

丹沢には約 20 種類のカエデの仲間があります。丹沢湖のまわりにも、植栽したカエデも含めて様々な種類があります。違いを見比べながら歩くのは結構面白い！

「でも、見分けるのは難しいかしら…？」と思った方、全然心配いりませんよ～！！例えばこんな方法はいかがですか？右のイラストは、葉っぱの上に薄めの紙を被せて上から色鉛筆でこするだけで簡単に書くことが出来ます。こうして見ると、形・大きさ・脈の入り方などが結構違うと思いませんか？

詳しい見分け方や名前は、また次のステップとして、まずは、いろいろなカエデを見比べに来てみませんか？ ((原島)



ミツデカエデ



チドリノキ



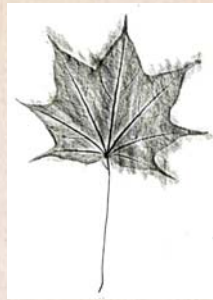
コミネカエデ



ホソエカエデ



イロハモミジ



イタヤカエデ



オオモミジ



カジカエデ

秦野ビジターセンター

爆弾キノコ

ぶくっとふくれた部分を指で押すと……ポフン！と白い胞子を大噴射！まるで爆弾みたいなので、子供の頃、爆弾キノコとよんで遊んでいました。

このキノコの本当の名前はツチグリといい、夏～秋に林の斜面に多くみられます。幼菌は球形ですが、熟すと裂けてタコのような形になり、丸い頭の部分を内皮、足の部分を外皮といいます。

実は、ツチグリはキノコの晴雨計（せいうけい）ともいわれ、雨など湿っているときは開いていますが、暗れて乾燥すると外皮を閉じて丸くなります。その時、内皮が押されて中から胞子が噴射する仕組みです。さらに、風が吹くと、コロコロ転がって移動することもできるそうです！子孫を広げるための“ツチグリ作戦”、うまくできているな～と感心してしまいます。ぜひ、秋の森で探してみてください！ ((柳沢)



幼菌と若いツチグリ



熟したツチグリ



胞子の出きったツチグリ

箱根ビジターセンター

増える交通事故

11月、寒さも本格的に始まり、季節は冬に……。それにつれて動物達、イノシシやアナグマ等は冬を越す準備の為に食物を求めてあちこちらに動き回ります。そして、それに比例するように増えるのは車と動物の接触事故。つい最近でもビジターセンター前にて一匹の若いタヌキが車にひかれて死んでいました。箱根は国立公園。思わずアクセルを踏みたくなくなる気持ちもわかりますが、公園内を運転する我々ドライバーは細心の注意を払いながら運転する事が最大の義務であると思います。

はねられた動物の中には、即死ではなくキューっキューっつと鳴き叫びながら苦しんで死んでゆくモノもいるのです……。

箱根の狩猟

神奈川県内では、毎年11月15日から2月15日まで狩猟が行われます。箱根地域はその殆どが、鳥獣保護区に指定されているため、本来であれば狩猟禁止地域ということになるのですが……箱根町では、イノシシが畑や庭、芝生を荒らすといった苦情が多く、有害鳥獣駆除という形で狩猟が行われています。期間は11月1日から3月31日、特別保護地区を除く町内全域が対象です。山歩きに出かけるときは、目的地や行程が駆除の行われる場所かどうかなど、事前の安全確認が必要です。今年は各地でドングリやブナ等の山の実りが不作で、野生動物と人間が遭遇する機会が増えています。とはいえ、町内各所で今も続けられている、餌付けは最終的に野生動物を追い詰めることになる行為です。難しい問題ですが、野生動物と人間の関わり方について、より良い形をもう一度、真剣に考え直す時期にきているのではないのでしょうか。 ((加藤・石原)



轢かれたタヌキ 死因は内臓破裂



餌付けされ、日中も町中に姿をみせるイノシシ

宮ヶ瀬ビジターセンター

名ハンターを探せ！

秋は様々な生きものたちの気配が感じやすい季節です。木のとっぺんなどから甲高い「キチキチキチキチ……」という声したら、こんな鳥を探してください(写真①)。モズです。この声は「高鳴き」といって、秋から冬のえさ場を確保するため、なわばりを主張する声です。

モズは獲物を捕らえたら、すぐに食べるだけでなく、まわりの木の棘などに刺しておくことがあります(写真②)。これは「はやにえ」と呼ばれ、獲物が少なくなる冬場に備えて保存している？などの説もありますが、はっきりとしたことは解っていません。バッタやカマキリ、ミミズ、そしてネズミの仲間など、様々な生きものが「はやにえ」となるようです。高鳴きが聞こえたら、その周りの藪や木々の枝先をじっくり探してみよう！

名ハンターとして名高い(!!)モズですが、ときにはこんな大きな獲物を運んでいることも！(写真③)。自らと大きさがあまり変わらない鳥を捕らえたようです。獲物をガツチリと掴みながら、登山道脇の森の中を必死に飛んでいました。

秋の山では様々な生きもの達の営みが見られます。気持ちのいい季節、ぜひ、丹沢へお出かけください！ ((鈴木)

